

CADEWA Real 2015 SP1 の更新内容

CADEWA Real 2015 SP1 (Service Pack 1) には、CADEWA Real 2015 発売以降の機能追加・機能向上項目が含まれています。

以下に CADEWA Real 2015 SP1 での機能追加・機能向上項目を記載いたします。

2015 年 10 月

Copyright (C) 株式会社四電工

Copyright (C) 株式会社富士通システムズ・ウエスト

機能追加及び機能向上項目

【基本機能】

1. Windows 10 対応 【機能追加】

- マイクロソフト社の新 OS 「Windows 10」に対応しました。

※仮想 OS (WindowsXP モード/Virtual PC/VMWare/Fusion/Hyper-V 等) 上での動作は保証いたしません。

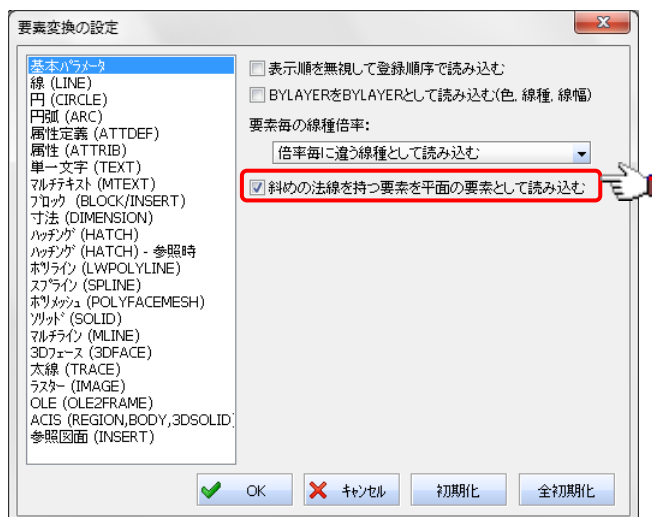
※CADEWA シリーズは「Windows ストア・アプリ」ではなく、従来の「デスクトップ・アプリ」です。「Modern UI」上では動作致しません。

※CADEWA Real 2015SP1 は、32bit と 64bit バージョンが使用できます。

- ・ 64bitOS 上の CADEWA Real 2015 64bit 版で使用可能なメモリの量は、OS の制限に依存します。
- ・ 64bitOS 上の CADEWA Real 2015 32bit 版で使用可能なメモリの量は、最大 4GB です。
- ・ 32bitOS 上の CADEWA Real 2015 32bit 版で使用可能なメモリの量は、最大 2GB です。
- ・ CADEWA Real 2015 64bit 版は 32bitOS にインストールすることはできません。

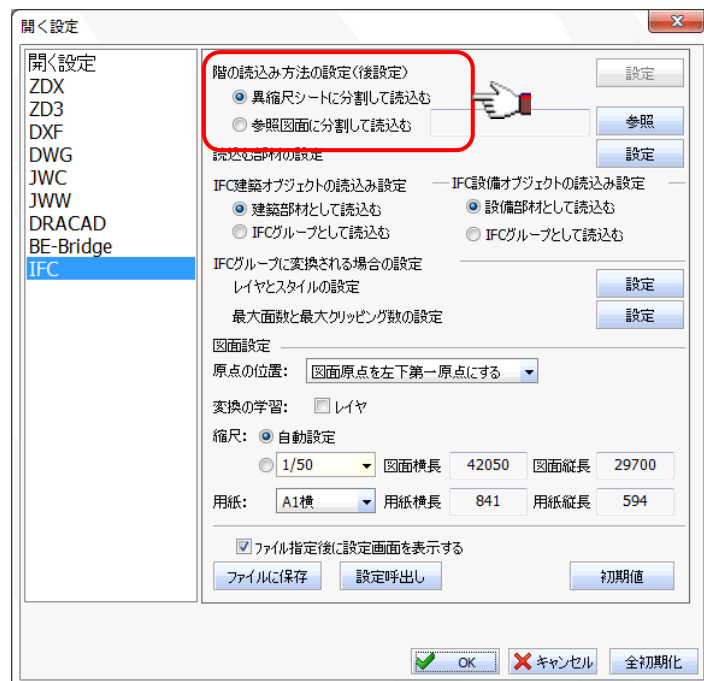
2. 開く【DWG】コマンド【機能向上】

- 傾いている面（斜めの法線をもつ面）の要素も取り込めるように対応しました。

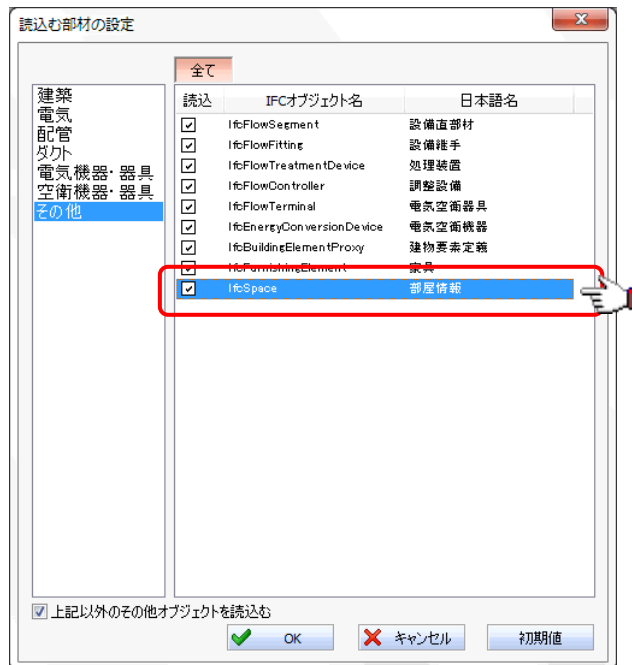


3. 開く【IFC】コマンド【機能向上】

- 階の読み込み方法の設定（後設定）の文言を変更しました。



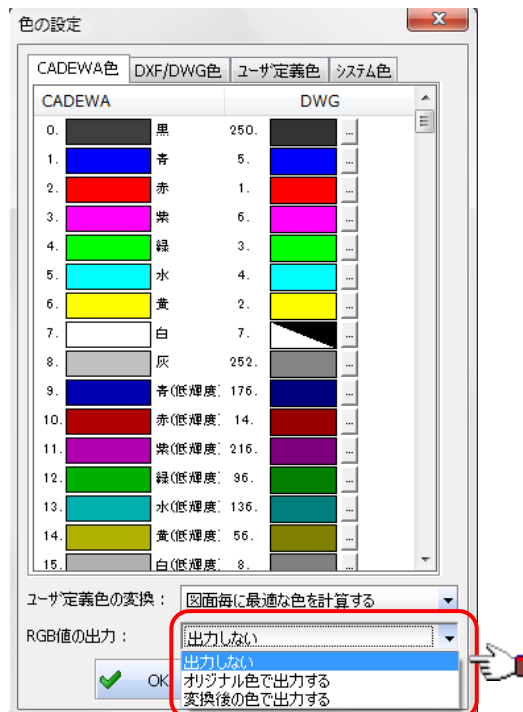
- 「IfcSpace」オブジェクトを、CADEWA の「部屋情報」として読み込むように対応しました。



- 「IfcFlowSegment－Pset_BE-Bridge—金属製電線管」オブジェクトを、CADEWA の「CG 配線」として読み込むように対応しました。

4. 保存【DXF・DWG】コマンド【機能向上】

- DXF・DWG 保存時、CADEWA 色番号の RGB 値を出力できるように対応しました。



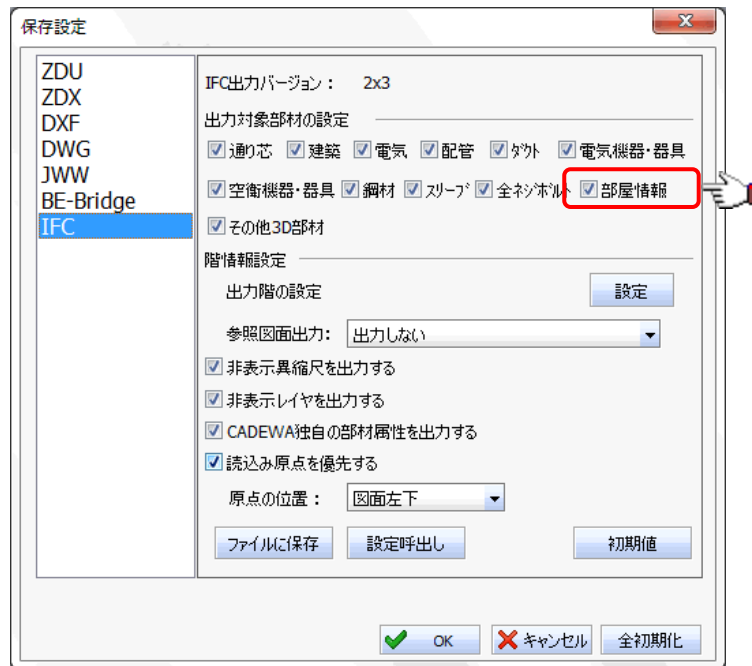
「オリジナル色で出力する」：CADEWA 色番号の RGB 値を出力します。

この場合、変換の割り当ては無視されます。

「変換後の色で出力する」：割り当てた DWG/DXF 色番号の RGB 値を出力します。

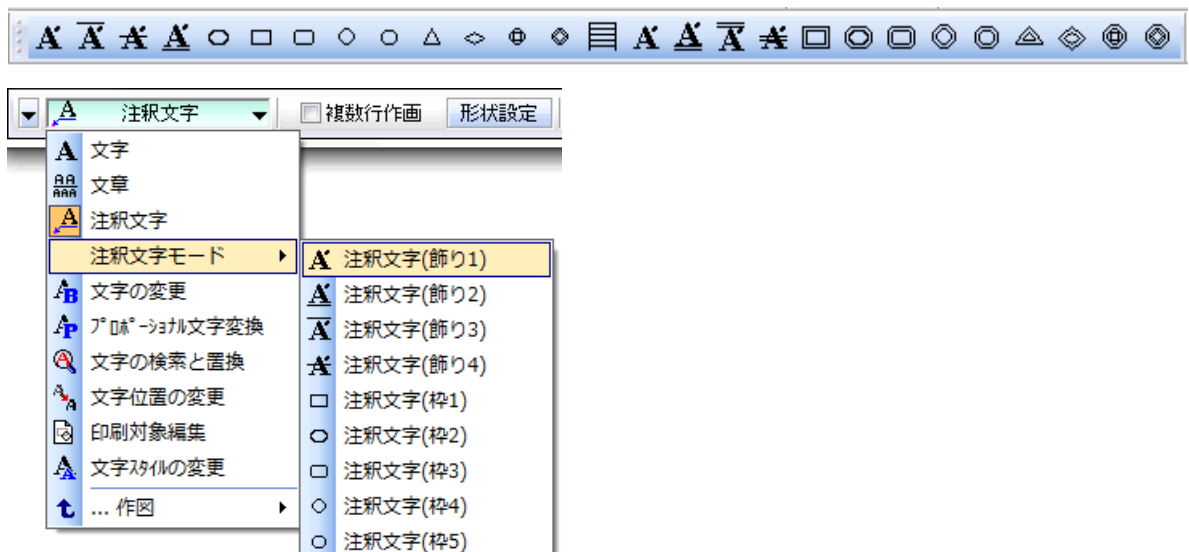
5. 名前を付けて保存【IFC】コマンド【機能向上】

- CADEWA の「部屋情報」を、「IfcSpace」オブジェクトとして保存するように対応しました。



6. 注釈文字コマンド【機能向上】

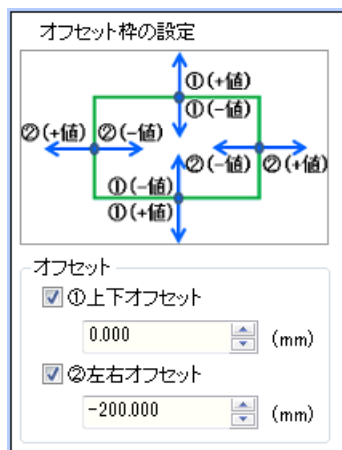
- 形状パターンを選択して起動できるように対応しました。これにより、操作性が向上します。



7. 位置揃えコマンド [機能向上]

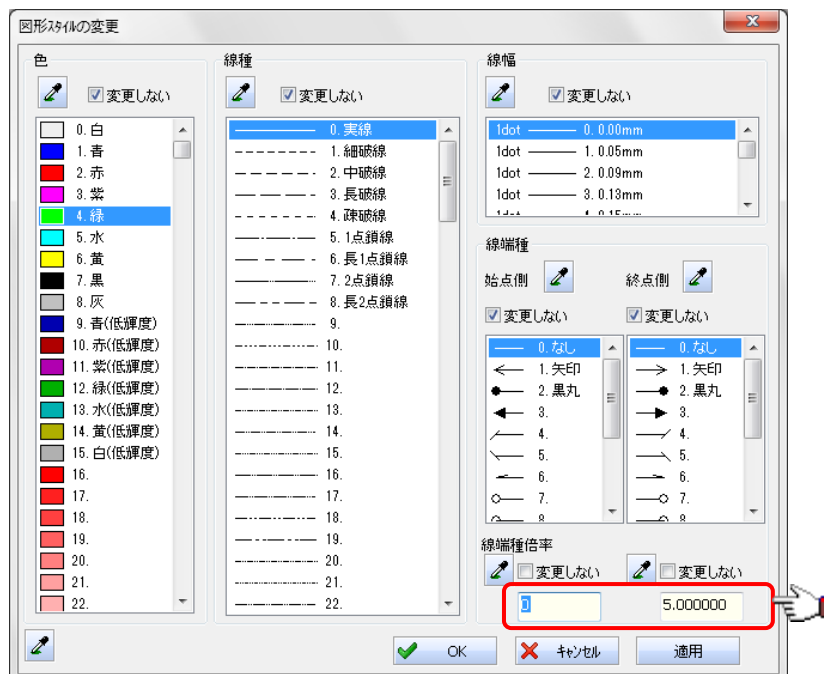
- 配置基準点のオフセットを設定できるように対応しました。

これにより、揃え位置を調整する事が可能となり、作業の効率化が図れます。



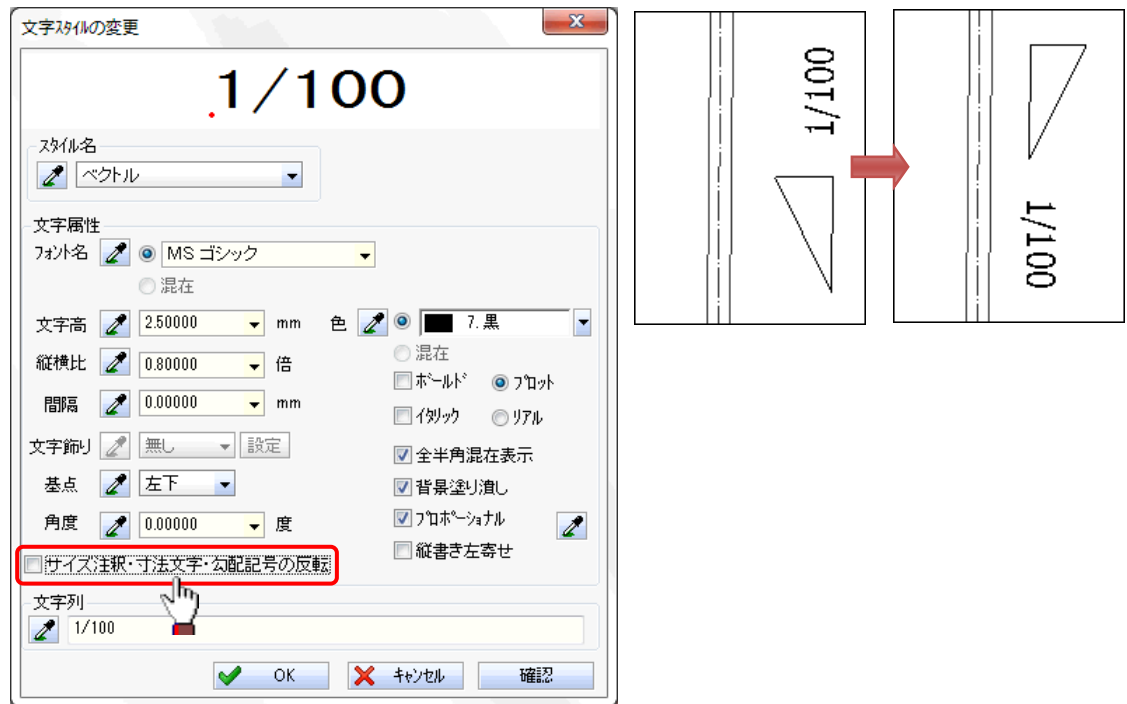
8. 図形スタイルの変更コマンド [機能向上]

- 線端種倍率を削除できるように対応しました。0を入れることで削除できます。



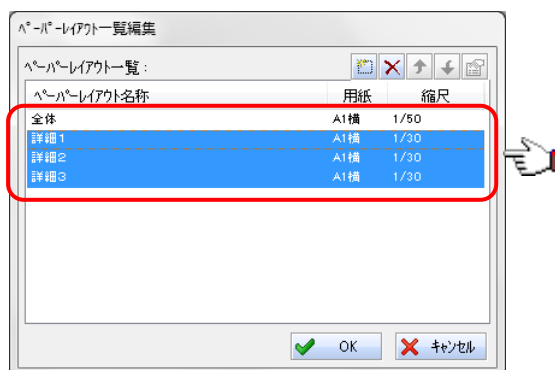
9. 文字スタイル変更コマンド [機能向上]

- 「勾配記号」の反転に対応しました。



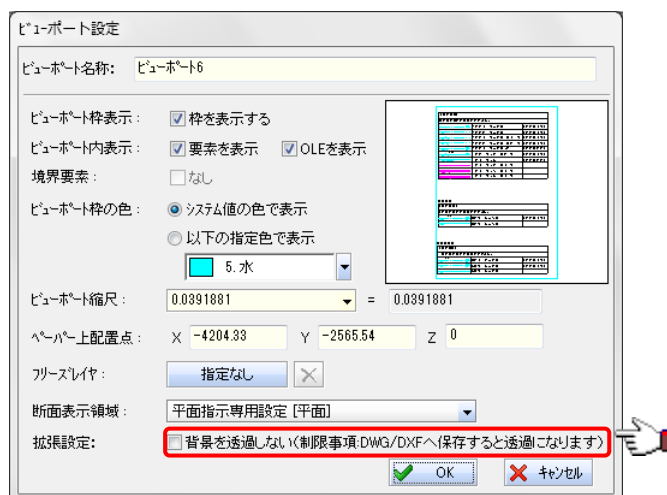
10. ペーパーレイアウト一覧編集コマンド [機能向上]

- 複数のペーパーレイアウトをまとめて削除できるように対応しました。

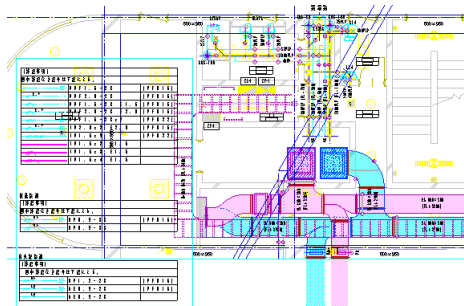


1 1. ビューポート設定コマンド [機能向上]

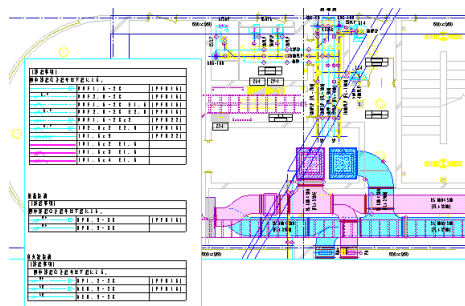
- ビューポートの背景を透過しない設定ができるように対応しました。



例：従来通り背景を透過している場合



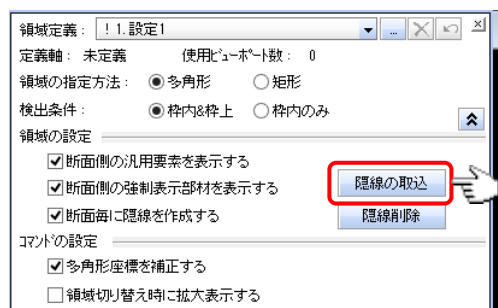
背景を透過しない場合



※制限事項：現在は DWG/DXF へ保存すると透過した状態になります。

1 2. 断面領域の設定コマンド [機能向上]

- 他の断面領域定義の結果から隠線結果を取り込めるように対応しました。

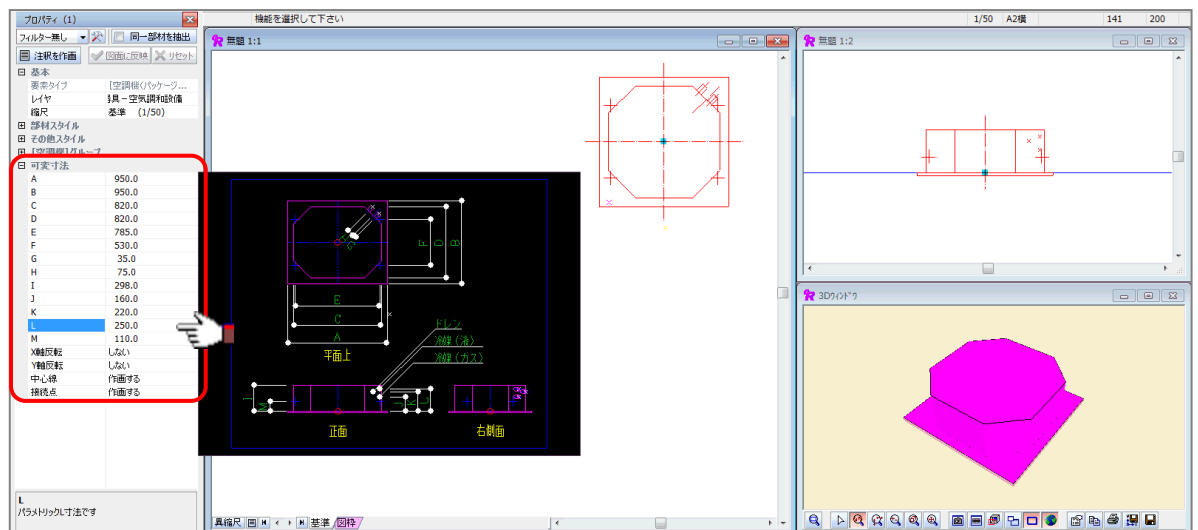


1 3. 異縮尺情報の呼び出しコマンド [機能向上]

- 要素を作図済の図面でも、異縮尺シートの設定情報を呼び出せるように対応しました。
呼び出された異縮尺シート設定情報のうち、異縮尺名称が異なるシートを追加できます。
(同一名称の異縮尺シートは追加されません。)

1 4. プロパティコマンド [機能追加]

- 機器・器具（可変）の可変寸法を変更する機能を追加しました。
これにより、属性は保持したまま形状の寸法を変更することが可能となり、操作性が向上します。



- ダンパ羽根の線種・線幅を変更する機能を追加しました。
これにより、メリハリのあるダンパ形状を表現する事ができるようになります。
- 全ネジボルトと支持金物の断面形状を変更する機能を追加しました。
- 全ネジボルト・支持材・鋼材の材質を変更する機能を追加しました。

【設備共通機能】

1. 施工確認マークコマンド 【機能追加】

- マークの作画レイヤを設定する機能を追加しました。
これにより、各マークを指定のレイヤに作画することが可能となり、編集性が向上します。

レイヤ設定	
☒ 入力レイヤ	☐ 指示部材と同じレイヤ
☐ 指定レイヤ	参照
建築設備－その他－その他－1	

- 一括削除する機能，削除要素を指定する機能，属性を初期化する機能を追加しました。
これにより、編集作業の効率化が図れます。

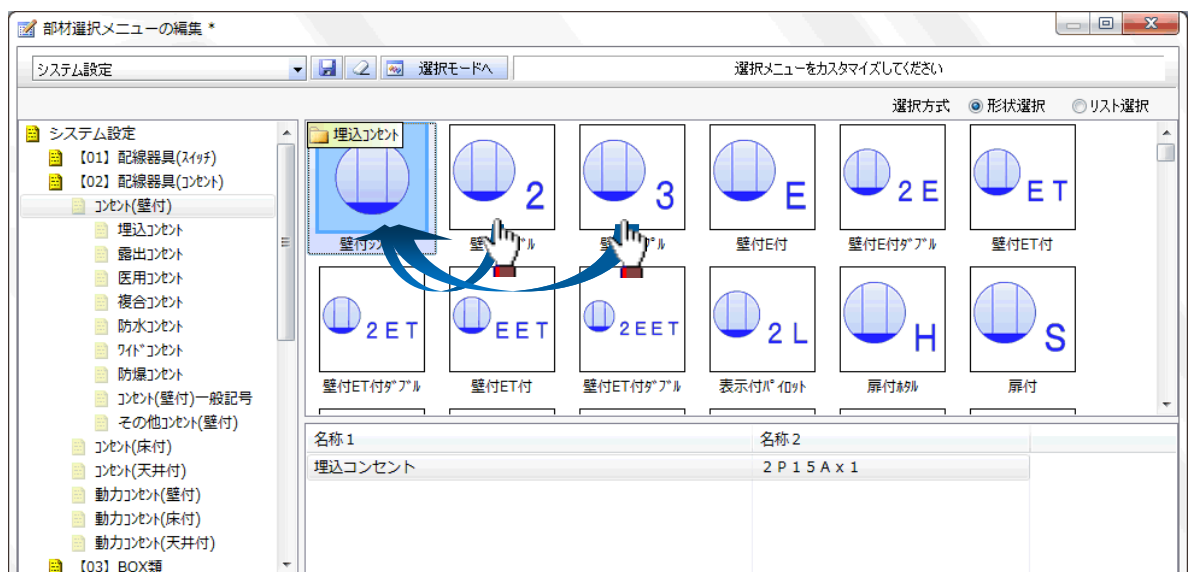
削除方法		
☒ 単独	☐ 一括	
削除施工確認マーク要素		
☒ 荷円	☒ 日付	☒ メモ
塗り潰し削除部材		
☒ スリーブ	☒ インサート	☒ 機器器具
属性初期化		
☒ スリーブ	☒ インサート	

【電気機能】

1. 機器・器具配置コマンド 【機能追加】

- 部材選択ダイアログ－編集モード－形状選択時に、ドラッグ&ドロップ操作にて機器・器具の属性リストを統合・統合解除する機能を追加しました。

これにより、部材選択の画面を、よりお客様好みに設定することができます。



統合

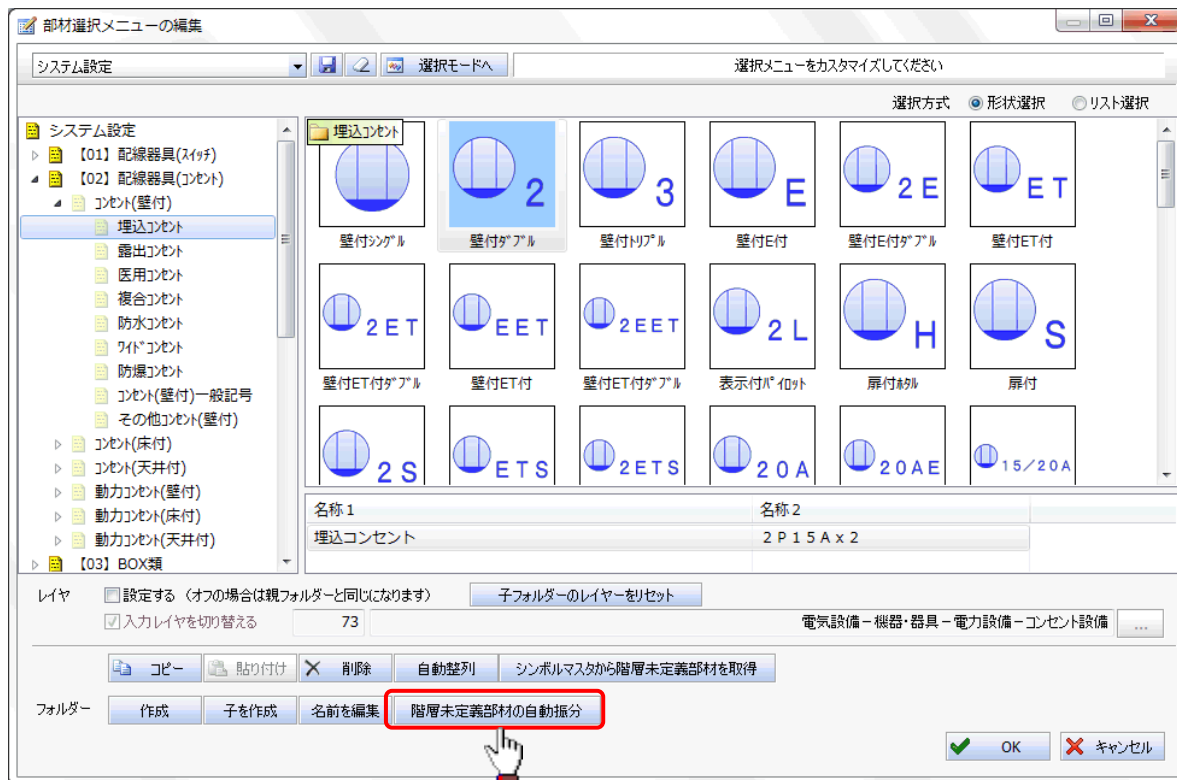
統合解除



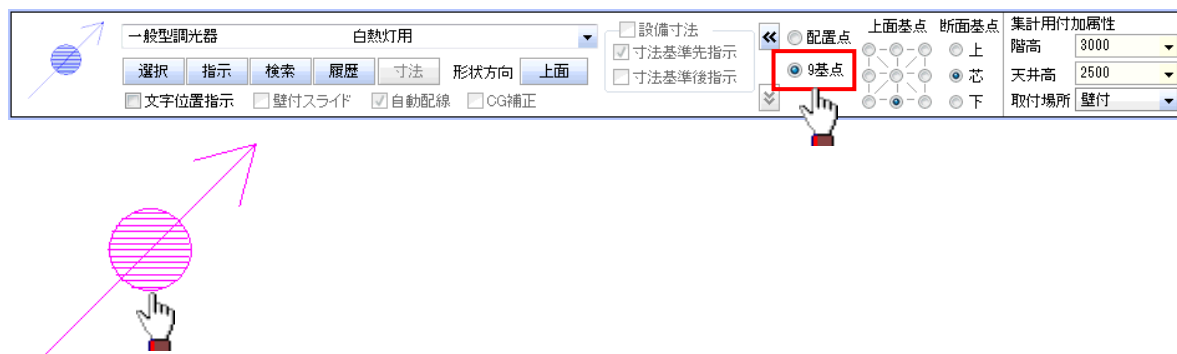
※選択した機器・器具を形状リストの形状上でドロップすると、属性リストに統合されます。

※選択した機器・器具を形状リストの形状と形状の間でドロップすると、統合解除されます。

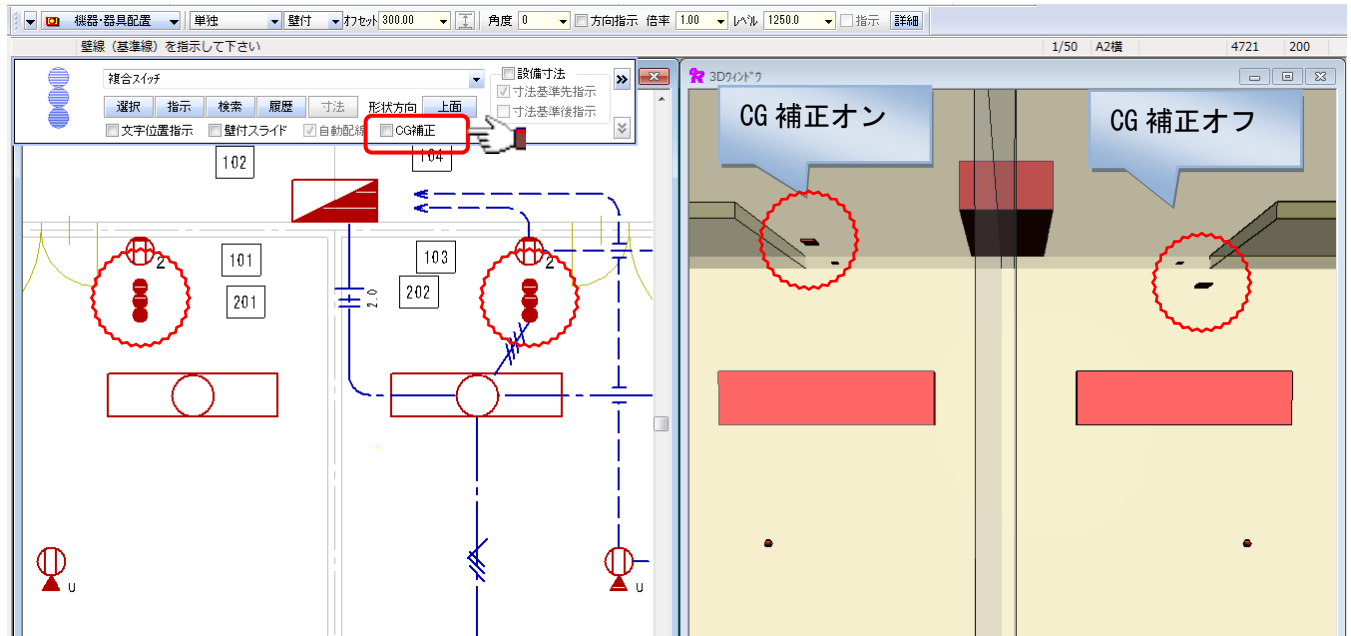
- 部材選択ダイアログの編集モードに、階層未定義部材を自動振分する機能を追加しました。
階層未定義フォルダに存在する部材を、近似するシステム部材フォルダに一括で移動させます。これにより、設定作業の効率化が図れます。



- 調光器・アッテネータの9基点配置時に、上面基点が円上になるように対応しました。
これにより、作画作業の効率化が図れます。

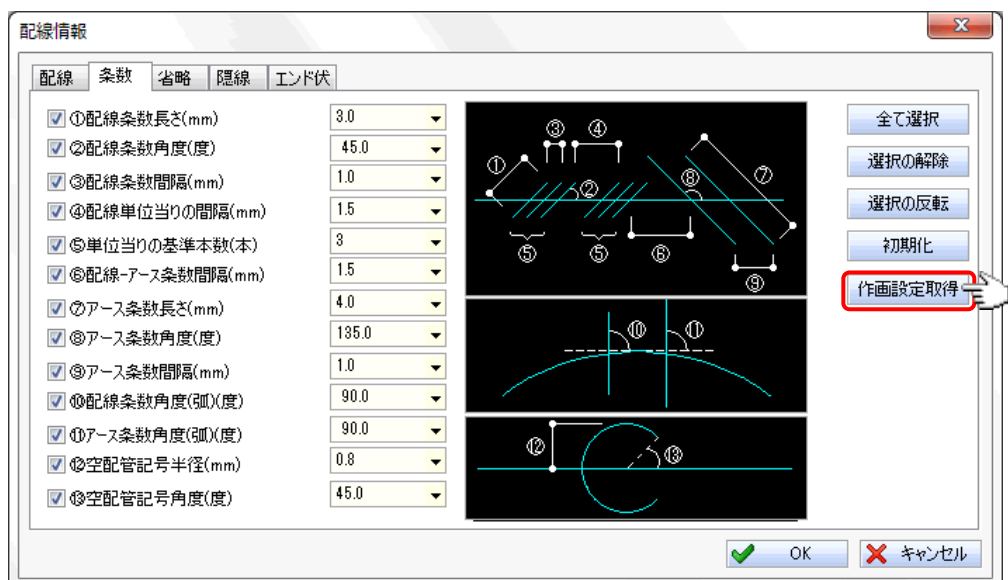


- 壁付時にオフセットを設定して作画する際、作画する機器のCGを壁線（基準線）座標に補正する機能を追加しました。これにより、平面図とCGで整合性のとれた表現が可能になり、図面の精度が向上します。



2. 要素サイズ変更コマンド [機能追加]

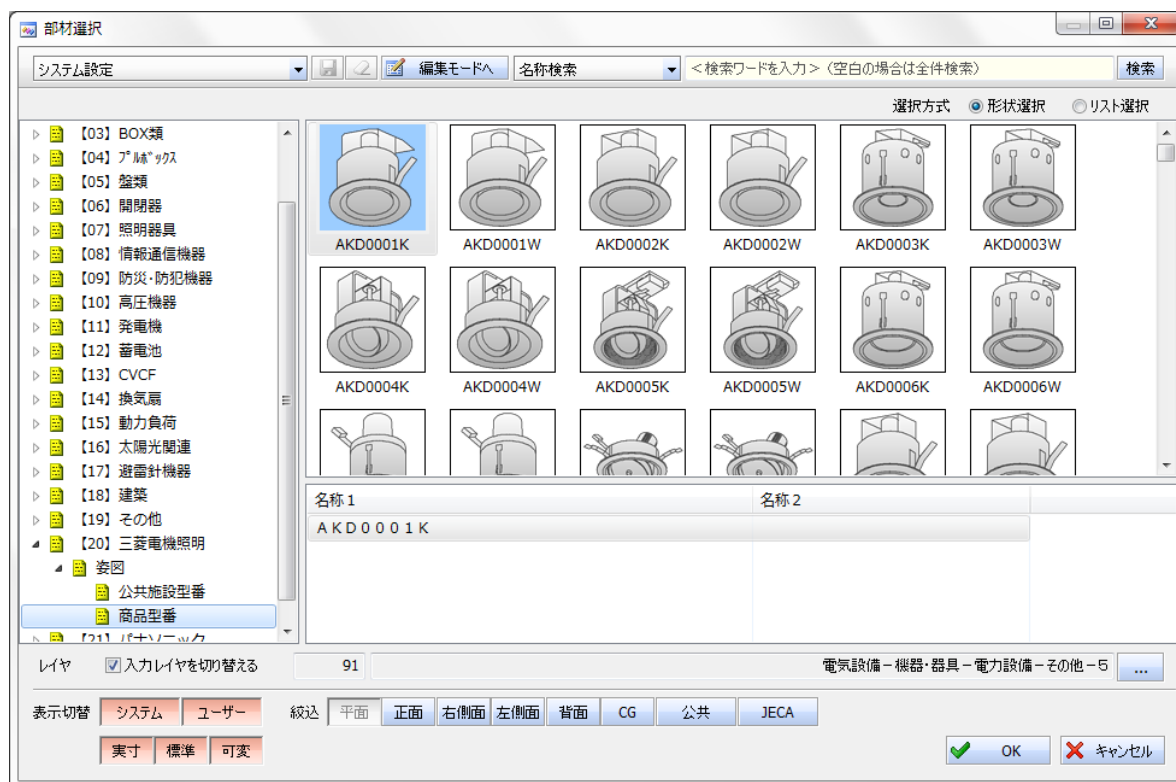
配線情報ダイアログの各タブ内に、配線を作る各コマンドの設定値を取得する機能を追加しました。これにより、設定作業の効率化が図れます。



3. 部材の追加 〔機能追加〕

● 以下の部材を追加しました。

・ 調光器	:	20 部材
・ リコンレクタスイッチ（n 回路）	:	1 部材
・ 漏電遮断器付コンセント	:	5 部材
・ 避難口誘導灯	:	32 部材
・ 通路誘導灯	:	12 部材
・ スピーカ	:	3 部材
・ 監視カメラ	:	8 部材
・ 火災感知器	:	3 部材
・ 自動閉鎖装置	:	2 部材
・ 三菱電機照明器具（姿図）	:	10,077 部材

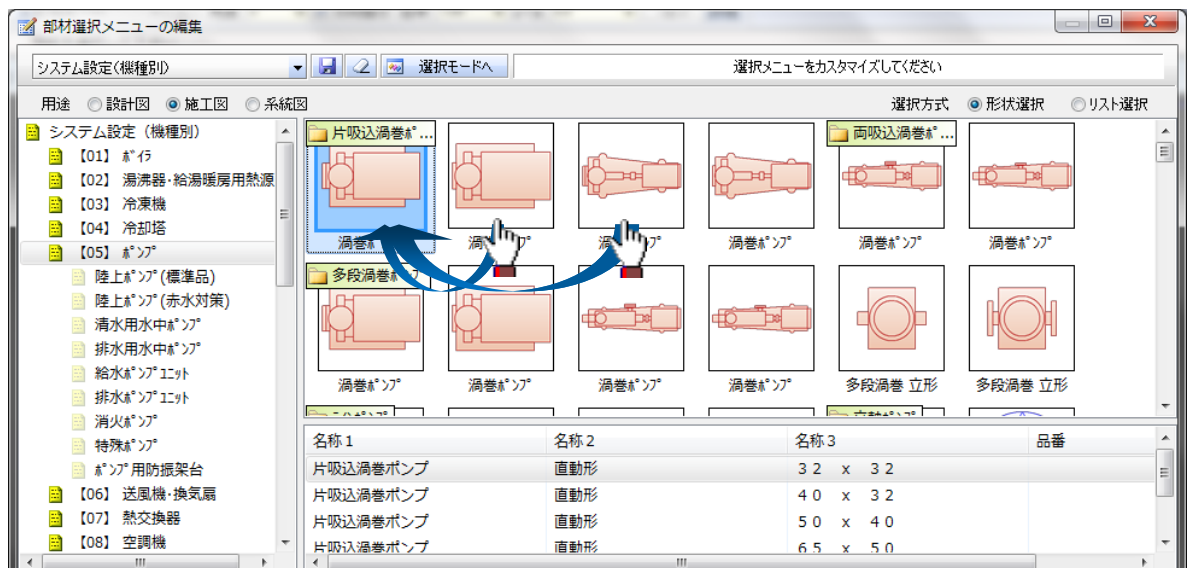


【空調・衛生機能】

1. 機器・器具配置コマンド 【機能追加】

- 部材選択ダイアログ－編集モード－形状選択時に、ドラッグ&ドロップ操作にて機器・器具の属性リストを統合・統合解除する機能を追加しました。

これにより、部材選択の画面を、よりお客様好みに設定することができます。



統合

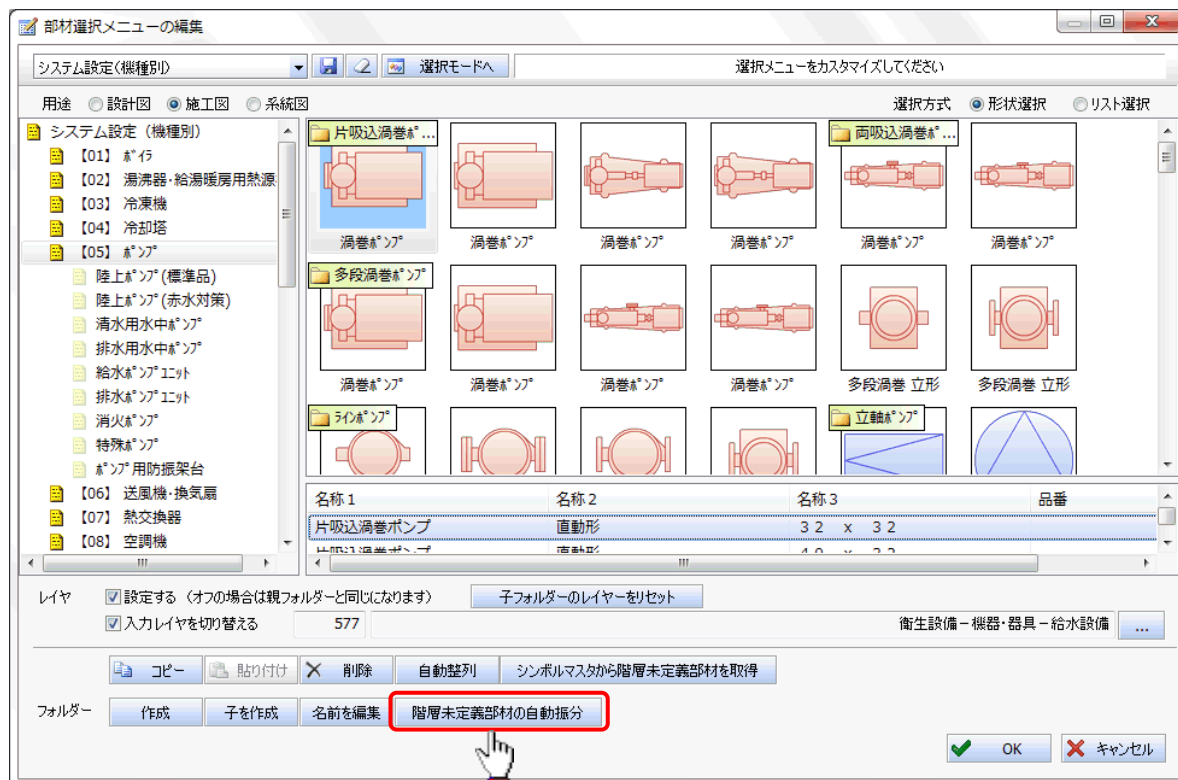
統合解除



※選択した機器・器具を形状リストの形状上でドロップすると、属性リストに統合されます。

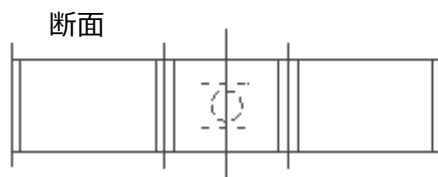
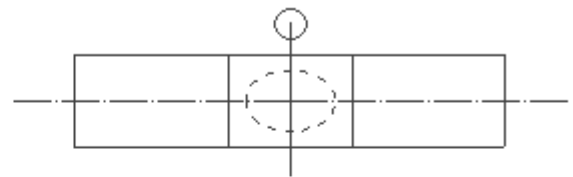
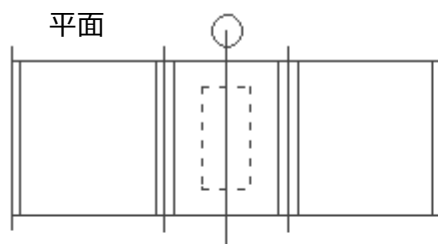
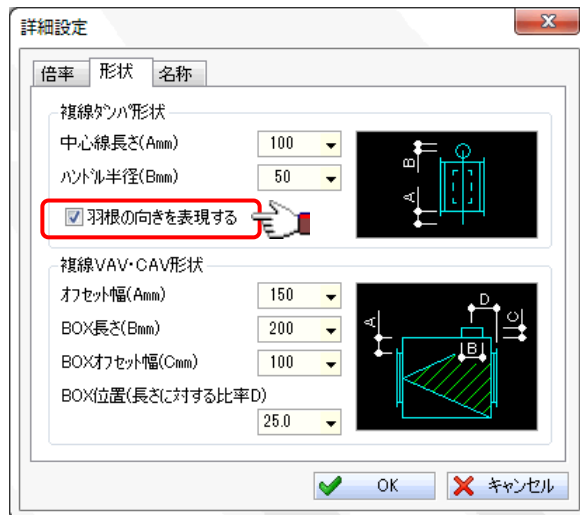
※選択した機器・器具を形状リストの形状と形状の間でドロップすると、統合解除されます。

- 部材選択ダイアログの編集モードに、階層未定義部材を自動振分する機能を追加しました。
階層未定義フォルダに存在する部材を、近似するシステム部材フォルダに一括で移動させます。これにより、設定作業の効率化が図れます。



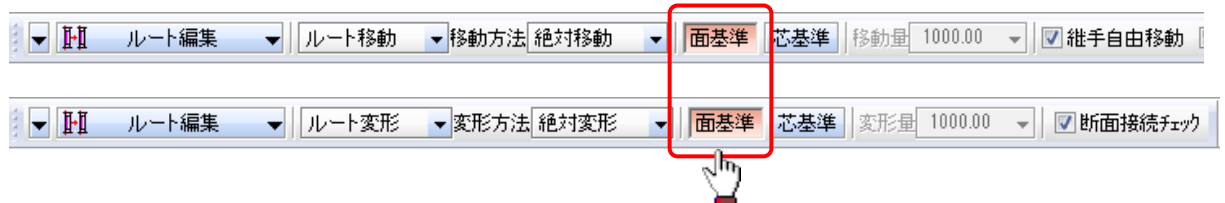
2. ダンパコマンド [機能追加]

- ダンパ羽根の向きを表現して作画する機能を追加しました。これにより、ダンパの取付け方向が決められている箇所（送風機の吹出付近等）で、施工ミスの防止に役立ちます。



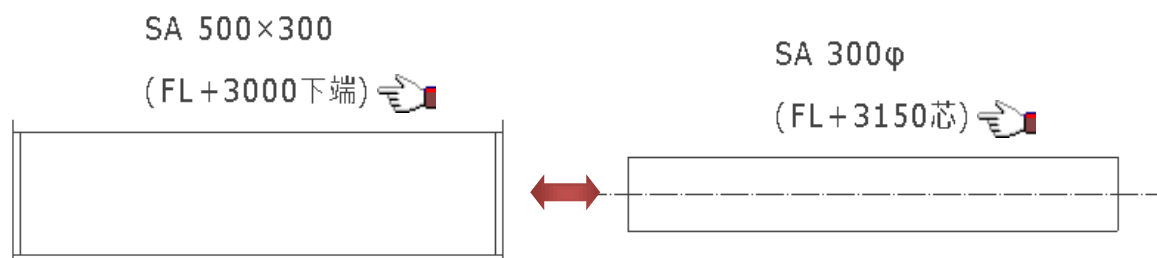
3. ルート移動コマンド、ルート変形コマンド [機能向上]

- 複線配管を面基準で編集出来るように対応しました。



4. サイズ変更コマンド [機能向上]

- サイズを変更した際、サイズ注釈のレベル作画基準を、作画設定の値で同時に変更する機能を追加しました。角ダクトから丸ダクトに変更した際、レベル作画基準も「下端」から「芯」に変更されるので、施工ミスを防止できます。

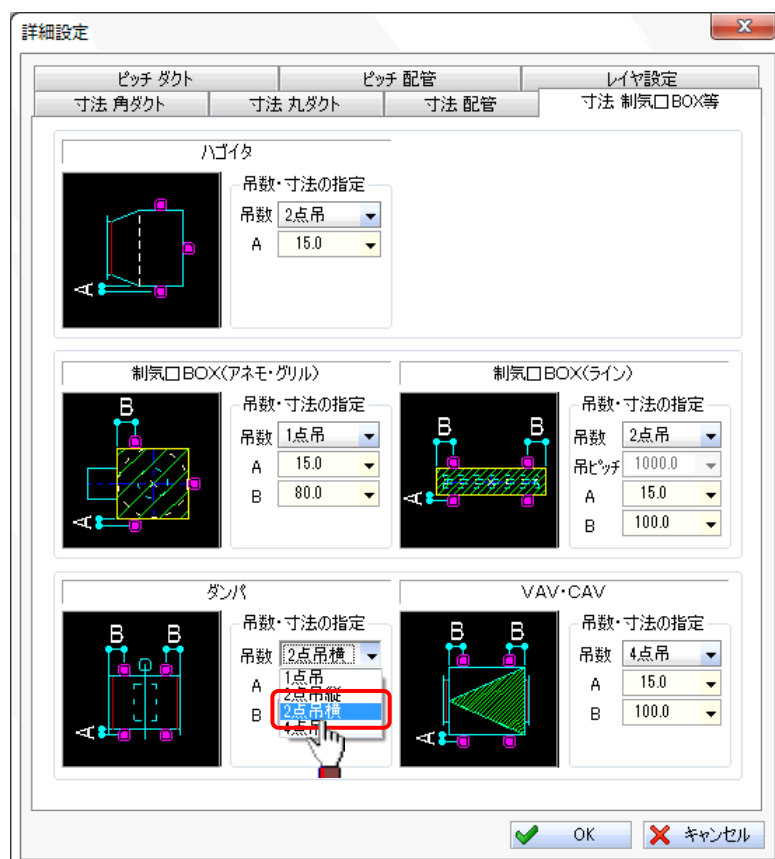


5. 継手削除コマンド [機能向上]

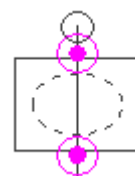
- 冷媒継手を削除した際、一直線上にある冷媒継手前後の冷媒管を結合するように対応しました。

6. インサートコマンド [機能向上]

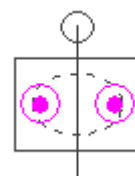
- 丸のダンパ・VAV・CAV に対して、ルートと平行な向きに 2 点吊りできるように対応しました。



【2点吊縦（従来の2点吊り）】



【2点吊横（SP1 追加）】



7. 冷媒サイズ表 [機能向上]

- 「ひらがな」「アルファベット」「カタカナ」「数字」の他に、「漢字」や「外国語文字」等も冷媒記号として使えるように対応しました。

8. 部材の追加 [機能追加]

- 以下の管材を追加しました。
 - ・ ステンレスクリーンパイプ [AP]
 - ・ ステンレスクリーンパイプ [AP] – Sch5S
 - ・ ステンレスクリーンパイプ [AP] – Sch10S
 - ・ ステンレスクリーンパイプ [BA]
 - ・ ステンレスクリーンパイプ [BA] – Sch10S
 - ・ ステンレスクリーンパイプ [EP]
 - ・ ステンレスクリーンパイプ [EP] – Sch10S
- 以下の継手を追加しました。
 - ・ K C F自動溶接継手 ソケット・レジューサ（偏芯）
 - ・ 透明管 ベンド管 300R,450R,600R,1000R

以上